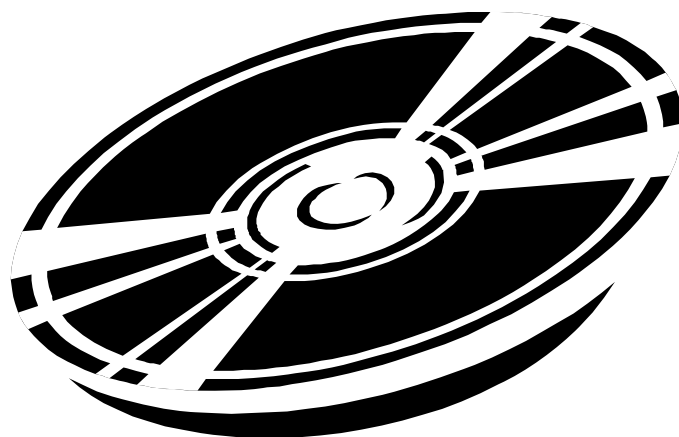


続 商標類否叢集 ディスク版マニュアル

(第7版)



- ・ 本製品は、追録発行ごとに随時変更・改良を重ねていく予定です。
- ・ 本製品のご利用には、WindowsXP 以降の OS が稼動するパーソナルコンピュータが必要です。この環境を満たしていても、既にインストールしているアプリケーション等の関係で、ディスクが立ち上がらない場合があります。メモリ不足が考えられますので、起動時に自動的に起動するソフト(ウイルスバスター、スクリーンセーバー等)は停止してから起動してください。また、既に起動している他のソフトを閉じることで状況が改善されることがあります。

目 次

1. ご利用の準備	P.2
2. ファイルの開き方	P.2
3. フィールドの説明	P.2
4. ボタンの説明	P.5
5. 検索方法	P.7

1. ご利用の準備

本製品は、次の 2 つの方法でご利用いただけます。

- a) ディスク上のデータを直接利用する方法（利用時にディスクが必要）
- b) ディスク上のデータをパソコンにコピーして利用する方法

b)の場合、以下の要領でご利用ください。

- (1) パソコンの CD/DVD ドライブに本製品を入れます。
 - (2) コンピュータから CD/DVD ドライブを開きます。
 - (3) ディスク内のデータをフォルダごとコピーし、ハードディスクの適当な場所(ドキュメント、デスクトップ等)に貼りつけます。
- ※ コピーしたデータが「読み取り専用」になっているときは、フォルダ内のファイルをすべて選択し、右クリックでプロパティを開き、「読み取り専用」のチェックをはずしてください。

2. ファイルの開き方

(1) プログラムの起動

- a)の場合 本製品を CD/DVD ドライブに入れ、ディスク内のフォルダを開きます。
- b)の場合 コピーしたフォルダを開きます。

(2) 「顕著・類否」又は「類否」をクリックします。

※ 「ユーザ名を入力してください。」というメッセージが出たら、適当な名前を入力して「OK」をクリックしてください。

(3) 「商標顕著性事典・続商標類否叢集メインメニュー」又は「続商標類否叢集メインメニュー」に入ります。目的に合わせて次の 2 つのデータベースのどちらかを選択してください。

- 【類否叢集 1】 商標の類似に関するデータベース
- 【類否叢集 2】 称呼の発生に関するデータベース

3. フィールドの説明

本データベースは「帳票形式」で作成しています。
帳票内の各データ(フィールド)の内容は以下の通りです。

❖ 「□」(チェック)フィールド

検索結果から特定のデータを絞り込むときに使用します。

本フィールドは、a)の方法(ディスク上のデータを直接利用する方法)では使用できません。

使用するときは、b)の方法(ディスク上のデータをパソコンにコピーして利用する方法)でご利用ください。

❖ 「※」フィールド

商標 A と商標 B の類否判断の結果を表示します。

両商標が非類似の場合、このフィールドに※印があります。

このフィールドにカーソルを持っていくと、「※」(非類似)又は「=」(類似)を選択できます。

❖ 「項目」フィールド

審決の内容に応じて、各データを以下の項目に分類しています。

【類否叢集 1】

- 1 音：一音のみ相違する称呼類否
- 2 音：二音以上相違する称呼類否
- 観念：観念類否
- 図外：図形商標の外観類否

【類否叢集 2】

- 読み：文字商標の称呼の特定
 - (漢字)：漢字よりなる商標の称呼の特定
 - (欧字)：欧文字よりなる商標の称呼の特定
 - (振仮)：振り仮名が付された商標の称呼の特定
- A+B：自他商品識別力が対等な二語以上の結合
- 普通：普通名称との結合
- 品質：品質・原材料・形状表示用語との結合
- 品位：品位・誇称表示用語との結合
- 産地：産地・販売地表示用語との結合
- 色彩：色彩表示用語との結合
- 記号：数量・記号表示用語との結合
- 接頭：接頭語句との結合
- 接尾：接尾語句との結合
- 暖簾：暖簾記号商標の称呼・観念
- 商号：商号・屋号商標の称呼・観念
- 図称：図形商標の称呼・観念

※ 「普通」「品質」は、審決における商品・役務の内容に応じてさらに以下の群に分類しています。

- I 群：化学部門（日本分類第 1～5 類、国際分類第 1～5 類）
- II 群：機械部門（日本分類第 6～13・34 類、国際分類第 6～13・17 類）
- III 群：繊維部門（日本分類第 14～17 類、国際分類第 22～27 類）
- IV 群：雑貨部門（日本分類第 18～27 類、国際分類第 14～16・18～21・28・34 類）
- V 群：食品部門（日本分類第 28～33 類、国際分類第 29～33 類）
- VI 群：役務部門（国際分類第 35～45 類）

※ 一覧表画面で「項目」をクリックすると、項目順にソートします。

❖ 「音 A」「音 B」フィールド

【類否叢集 1】のみで表示されます。

項目「1 音」の審決データにおいて、相違する 1 音を表示します。

「音 A」フィールド：商標 B と対比したときの商標 A における相違音

「音 B」フィールド：商標 A と対比したときの商標 B における相違音

❖ 「対象部分」フィールド

【類否叢集 2】のみで表示されます。

商標 A と商標 B の類否判断の際に、自他商品役務識別力の有無が問題になった部分を表示します。

❖ 「商標 A」「商標 B」フィールド

「商標 A」フィールド：審決における本願商標・本件商標

「商標 B」フィールド：審決における引用商標

❖ 「類」フィールド

審決において本願商標・本件商標が指定した区分を表示します。

多区分の場合は、先頭の区分 又は 類否判断で問題になった区分を表示し、それ以外の区分は「+」で省略しています。

数字の前にあるアルファベットはそれぞれ次の分類を示します。

O：旧分類

N：日本分類

K：国際分類

※ 一覧表画面で「類」をクリックすると、類を昇順にソートします。

❖ 「審判番号」フィールド

審判年、審判番号、審判の種類順に表示します。

審判の種類はそれぞれ次の事件であることを示します。

拒：拒絶査定不服の審決

無：無効の審決

イキ：異議の決定(付与後異議)

異：異議の決定(付与前異議)

判：判定

※ 2022 年 1 月発行の審決公報から判定公報が廃止されたため、これ以降の判定は掲載していません。

❖ 「審決日」フィールド

審決年、審決月、審決日の順に表示します。

(異議事件の場合は、決定年、決定月、決定日の順に表示します。)

❖ 「公報番号」フィールド

公報番号、公報頁の順に表示します。

2000 年以降の審決公報は、データベースの公報を参考にしているため、公報頁がありません。

(例えば、「2000-2」とあるのは、2000 年 2 月発行の審決公報を意味します。)

※ 一覧表画面で「公報番号」をクリックすると、公報番号を昇順にソートします。

❖ 「理由」フィールド

審決・決定の理由を要約して表示します。

❖ 「商標 A(図形)」「商標 B(図形)」フィールド

商標 A 又は商標 B が図形を含む場合、その図形のイメージデータを表示します。

※ 個別レコードのページ 及び 「暖簾・図称」「図形外観」の印刷レイアウトで表示されます。

4. ボタンの説明

❖ 画面上部の 等のボタン

該当する各項目にジャンプします。

最初の画面タイトルは「類否 1 全項目 一覧表」ですが、ボタンをクリックすると該当タイトルになります。

(例えば をクリックすると、タイトルが「類否 1 1音 一覧表」に替わります。)

「商標 顕著性事典」も収録したディスクは、商標 顕著性事典にジャンプする ボタンもあります。

❖ 画面中段のボタン

検索画面にジャンプします。

検索画面にジャンプします。(一度検索した結果をさらに絞り込むときに使用します。)

図形の入ったデータを検索するときに使用します。

詳細な利用方法は「図形を検索する場合」(P.9)をご覧ください。

チェックをつけたレコードのみを抽出して表示します。(チェック欄が使える場合にのみ利用できます。)

チェックによる絞り込みを解除し、全項目の全件データが復帰します。

カーソルのあるレコードが選択の対象外になり、非表示になります。

(個別レコードでは、画面に表示されているレコードが選択の対象外になります。)

個別レコード画面にジャンプします。

選択したデータを印刷します。

※ 選択したすべてのデータを印刷する場合は、 をクリックした後に表示される印刷ボックス

スの「印刷」(R)部分を「対象レコード」に設定してください。

(「現在のレコード」に設定すると、現在カーソルが置かれているレコード1件しか印刷されません。)

※ 一覧表を印刷した場合は「理由」フィールドが印刷されません。

「理由」を印刷するには、選択したデータに合ったレイアウトを印刷レイアウトから選択して、印刷を実行してください。

コピー

選択したテキストデータをコピーします。

審決の理由、審判番号等を別のファイルへコピーする場合は、コピーする部分を選択し、「コピー」をクリックします。選択された部分はクリップボードにコピーされます。

なお、データ改変等を防止するため、「続 商標類否叢集」のデータを CSV ファイル等へインポート又はエクスポートすることはできません。

❖ 印刷レイアウトボタン

選択したデータに合ったレイアウト画面へジャンプします。

【類否叢集 1】

- 1 音** : 「1 音」に用いるレイアウトへジャンプします。
- 2 音・観念** : 「2 音」「観念」に用いるレイアウトへジャンプします。
- 図形外観** : 「図外」に用いるレイアウトへジャンプします。

【類否叢集 2】

- 読み・A+B・商号** : 「読み」「A+B」「商号」に用いるレイアウトへジャンプします。
- 普通～接尾** : 「普通」「品質」「品位」「産地」「色彩」「記号」「接頭」「接尾」に用いるレイアウトへジャンプします。
- 暖簾・図称** : 「暖簾」「図称」に用いるレイアウトへジャンプします。

❖ 個別レコード画面のみにあるボタン

音数

「1 音」データで、商標 A 及び商標 B の音数を数字で、相違音の位置を次のアルファベットで表示します。

- F : 語頭
- M : 中間
- B : 語尾

たとえば、「6F」は商標 A 及び商標 B とも 6 音で、相違音は語頭であることを示します。

「5.5M」は商標 A が 5 音、商標 B が 6 音又は商標 A が 6 音、商標 B が 5 音で、相違音は中間であることを示します。

最初へ

選択したレコードの先頭にジャンプします。

最後へ

選択したレコードの最後にジャンプします。

前へ

現在開いている個別レコードの 1 つ前のレコードにジャンプします。

次へ

現在開いている個別レコードの 1 つ後のレコードにジャンプします。

❖ 検索画面のみにあるボタン

新規検索条件

検索条件を入力した後に、更に別の検索条件を入力するときに使用します。

検索開始

検索を開始します。

閲覧モード

検索モードを解除して一覧表画面又は個別レコード画面に戻ります。

❖ その他のボタン

本製品について

本製品に関する注意事項にジャンプします。

終了

本データベースを終了します。

5. 検索方法

本データベースはファイルメーカーPro11.0 で作成されています。既にファイルメーカーをご使用のお客様は、通常行う検索方法と同様の操作を行ってください。

❖ 対比する 2 つの商標の類否で検索する場合

「※」フィールドに「※」を入力し、**検索開始**をクリックすると非類似のデータが選択されます。

「※」フィールドに「==」(半角イコール 2 つ)を入力し、**検索開始**をクリックすると類似のデータが選択されます。

❖ 「項目」で検索する場合

次の 2 つの方法により、目的の項目のデータのみが表示されます。

方法 1: 個別レコード画面又は一覧表画面の上部にあるボタンのうち検索する項目を選択します。

方法 2: 「項目」フィールドで検索する項目を選択し、**検索開始**をクリックします。

❖ 相違音で検索する場合 ※【類否叢集 1】のみの検索方法

「音 A」「音 B」フィールドに相違音を入力することで、称呼において 1 音のみ相違する商標の類否に関するデータを抽出します。

※ 「音 A」「音 B」フィールドは片仮名で入力してください。(全角でも半角でも検索可能です。)

- ※ 「長音」は「ー」(長音記号)を用いてください。
- ※ 促音「っ」の1音相違を検索する場合は、「1音 促音」の項目を選択してください。
(「音 A」「音 B」フィールドに「っ」を入力すると、タ行の「っ」と混同するおそれがあります。)
- ※ 「項目」及び「音 A」「音 B」フィールドの双方に検索条件を入力することも可能です。
- ※ 半濁音、濁音まで含めて検索する場合は、音の前に「~」を入力してください。ゆるやかな検索になり、半濁音、濁音まで含まれます。

例:相違音が「ア」と「カ」の商標の類否

「音 A」フィールドに「ア」、「音 B」フィールドに「カ」を入力します。

をクリックすると、相違音が「ア」「カ」又は「カ」「ア」のデータを抽出して表示します。

例:相違音が「ア」のみの商標を類否

「音 A」フィールドに「ア」、「音 B」フィールドに「=」を入力します。

をクリックすると、「ア」のみのデータ(「アマス」と「マス」など)を抽出して表示します。

❖ 「対象部分」で検索する場合 ※【類否叢集 2】のみの検索方法

自他商品役務識別力が問題となった文字列を含む商標と、これを含まない商標との類否に関するデータを抽出します。

※ 全角でも半角でも検索可能です。

※ フィールドに入力した文字列は「前方一致」検索になります。

中間一致、後方一致で検索する場合は、前後に「*(アスタリスク)」を付してください。

例:「スーパー」「SUPER」又は「すーぱー」を含む商標の類否 (OR 検索)

「対象部分」フィールドに「スーパー」を入力します。

をクリックすると、「スーパー」を含む商標を抽出して表示します。

この場合「SUPER」「すーぱー」など片仮名以外の文字で表されたものは選択されません。

これらの文字も選択する場合は、

- (1) 「対象部分」フィールドに「スーパー」と入力し、をクリックします。
- (2) 「対象部分」フィールドに「SUPER」と入力します。
(大文字小文字を問わないので、「SUPER」と入力すれば「Super」「super」も抽出されます。)
- (3) さらにをクリックし、「対象部分」フィールドに「すーぱー」を入力します。
(長音は長音のみで入力されていますので、「すうぱあ」を含む商標を検索する場合は「すうぱあ」という条件も必要になります。)
- (4) をクリックすると、「スーパー」「Super」「すーぱー」を含む商標のデータを抽出して表示します。

例:「ハイ」及び「エース」の両方を含む商標の類否 (AND 検索)

「対象部分」フィールドに「ハイ」を入力し、スペースを1つ空けて「エース」を入力します。

をクリックすると、「ハイ」及び「エース」の両方を含む商標を抽出して表示します。

※ 「OR 検索」と同様に、「HI」「Hi」「はい」「ACE」「Ace」「えーす」等を含む商標も抽出する場合は、「新規検索条件」を利用してください。

※ スペースを1つ空けることで、複数の絞り込みが可能です。

❖ 「商標 A」「商標 B」で検索する場合

「商標 A」「商標 B」フィールドに検索する文字列を入力します。

をクリックすると、該当データを抽出して表示します。

「商標 A」「商標 B」それぞれにデータを入力すると、「商標 A」「商標 B」フィールドの文字列を自動的に入れ替えて検索しますので、新規検索条件で「商標 B」「商標 A」を入れ替えて検索条件を追加する必要はありません。

❖ 「類」で検索する場合

「類」フィールドで検索する区分を選択します。

をクリックすると、該当区分のデータを抽出して表示します。

例：国際分類第 9 類で「対象部分」に「ホワイト」を含む商標の類否

(1) 「類」フィールドに「K09」を入力します。

(2) 同じ画面で「対象部分」フィールドに「ホワイト」を入力します。

(3) をクリックし、「類」フィールドに「K09」、「対象部分」フィールドに「WHITE」を入力します。

(4) 「ほわいと」を含む商標も検索する場合は、さらに をクリックし、「類」フィールドに「K09」、「対象部分」フィールドに「ほわいと」を入力します。

(5) をクリックすると、「ホワイト」「WHITE」「ほわいと」を含む商標のデータを抽出して表示します。

❖ 「審判番号」又は「公報番号」で検索する場合

「審判番号」又は「公報番号」フィールドに検索する審判番号又は公報番号を入力します。

をクリックすると、該当データを抽出して表示します。

❖ 図形を検索する場合

【類否叢集 1】

(1) をクリックします。

(2) 図形検索条件を選択します。(複数選択可能)

「幾何」 商標中に幾何図形が表されている商標

「植物」 商標中に植物図形が表されている商標

「動物」 商標中に動物図形が表されている商標

「器物」 商標中に器物図形が表されている商標

「人物」 商標中に人物図形が表されている商標

「天体」 商標中に天体図形が表されている商標

「文字」 文字商標

選択を間違えた場合は、でチェックが解除されます。

(3) 検索条件の「AND」又は「OR」を選択し、をします。

(4) 結果は図形外観レイアウトで表示されます。

(5) さらに絞込検索をする場合は

i) 一覧表画面又は個別レコード画面にジャンプします

- ii) をクリックします。
- iii) 図形検索条件でさらに絞り込む場合は、「項目」フィールドに条件を入力します。図形検索画面は印刷できますので、図形検索条件を入力する際にご利用ください。他の検索と同様、公報番号や類で絞り込むことができます。

【類否叢集 2】

- (1) をクリックします。
- (2) 図形検索条件を選択します。(複数選択可能)
 - 「文字」 文字商標の称呼観念
 - 「図文」 図形と文字が重なった商標の称呼観念
 - 「図形」 図形商標の称呼観念
 - 「多段」 文字が複数段で表されている商標の称呼観念
 - 「図案」 文字が図案化されている商標の称呼観念
 - 「要部」 商標の要部が問題となったケース
 - 「一体」 図形文字が一体不可分と判断されたケース
 - 「分断」 文字が分断されて判断されたケース
 - 「暖簾」 暖簾記号が図案化されている商標
 選択を間違えた場合は、でチェックが解除されます。
- (3) 検索条件の「AND」又は「OR」を選択し、をします。
- (4) 結果は暖簾・図称レイアウトで出ます。
- (5) さらに絞込検索をする場合は
 - i) 一覧表画面又は個別レコード画面にジャンプします
 - ii) をクリックします。
 - iii) 図形検索条件でさらに絞り込む場合は、「項目」フィールドに条件を入力します。図形検索画面は印刷できますので、図形検索条件を入力する際にご利用ください。他の検索と同様、公報番号や類で絞り込むことができます。

❖ その他

- (1) 検索画面上部にあるをクリックすると、検索に利用するさまざまな記号が出ます。例えば公報番号 4000 以上の審決を検索する場合は、「 ≥ 4000 」を入力します。
- (2) 検索結果が「該当データなし」となった場合、閲覧モード画面に戻ってもデータが全く表示されない場合があります。その場合はをクリックしてください。全項目の全件データが復帰します。
- (3) 本製品の使用中はタスクバーが表示されない場合があります。その場合、「Alt」+「Tab」キーで、既にかいている他のファイルへ切り替わります。

続 商標類否叢集ディスク版マニュアル第7版(2015/9/28改訂)

Copyright © 1999,2008,2015 (株)パテントジャパン

本製品に関するご意見、ご質問等は下記までご連絡ください。

(株)パテントジャパン

東京都港区虎ノ門1丁目2-20 第3虎の門電気ビルディング8階

TEL:03-6206-6426 FAX:03-5860-9407 〒105-0001

URL:<http://www.patentjapan.jp> MAIL:ask@patentjapan.jp

